

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）5月15日号 No. 1328

## 目次

●外国車の現地生産が加速するロシアの乗用車分野.....	坂口 泉 1
●エトセトラ .....	8
『調査月報』2005年6月号のご案内／8	
シャリホフ副首相によるアゼルバイジャン・プレゼンテーション／8	
南東欧投資セミナー開催のご案内／8	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定 .....	9
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート .....	9

## 外国車の現地生産が加速するロシアの乗用車分野

### はじめに

2004年のロシアの乗用車市場については先日、『調査月報』で詳しいレポートをお届けしたが（2005年5月号参照）、2005年に入ってもロシアの乗用車分野では純国産車の衰退と外国車の勢力拡大を軸に、構造的な変容が進展している。

たとえば、販売価格の大幅値上げが原因で、2004年後半から多くの中堅純国産メーカーが極度の販売不振に陥っていたが、2005年に入り、ロシアの乗用車生産量の約7割を占める純国産最大手のAvtoVAZも、やはり値上げが災いしての販売不振に見舞われた。一方、現地生産されている外国車や輸入新車の販売は好調で、とくに1万5,000ドル未満の低価格外国車の売れ行きの伸びが目立った。純国産車は、極言すればもっぱら価格の安さを武器に市場でのプレゼンスを確保してきたのだが、度重なる値上げでその魅力が薄れ、「縄張り」の一部を低価格外国車に侵食され始めたといえる。

そして、今年に入って、純国産メーカーの危機感を喚起する事件がもうひとつあった。2005年3月末に、ロシア政府が外国車の現地生産を促進するための優遇制度の導入を決定したのである。この決定のすぐ後に、日本のトヨタが現地生産の意向を正式に発表した。今後も現地生産を決断する外国メーカーが複数出現する可能性がある。

本稿では、2005年第1四半期の国産車の生産・販売状況、外国車の販売状況および3～4